

研究成果報告書

2024年 5月 8日

1. 所属・職・氏名 等

地域社会学科・准教授・小島 恵

2. 研究課題（テーマ）名

- 食と農に関する総合的な環境負荷を軽減する法政策の検討
- 災害時の化学物質のリスク管理

3. 研究期間

2023年度

4. 利用した研究費の種類及び金額

若手教員研究促進交付金・200,000円

5. 研究の概要

(1) の課題は、食と農に用いられている多様な化学物質を減らしていくことが、人の健康や環境保護の観点から重要だということから、関連する法制度の調査をすることとした。

(2) の課題は、気候変動による自然災害の激甚化や大規模地震の続発が深刻な現代において、災害・事故時の化学物質汚染対策が極めて手薄なのではないかという見込みから、関連する法制度の調査をすることとした。

6. 研究成果等

(1) の課題については、安全な食を守るということが、環境負荷の低減や国の安全保障にも資するという観点から、文献調査等を行なった。「安全な食」というのは、農薬や化学肥料を減らすことはもちろん、流通やパッケージの見直しや、小規模農家の支援など、関連する政策は多岐にわたる。そうした政策を後押しする法的な手当を環境法の立場から提言する余地は多分にあるということが明らかになった。

(2) の課題については、関連する国内法令を網羅的に調査し、災害時の対応についての規定をリストアップした。総じて工場等の事故については「自主保安」の考え方が根強く、国内の法令には規定が十分に備えられていないことが明らかになった。昨今の気象状況を踏まえた対応が早急に求められる事実が浮かび上がった。

7. 研究の実績（論文・発表 等）

学内紀要（単著）および学術誌（共著）へ投稿予定。